

礼拝黙想 Meditating on Worship

A「彼らの目の前で、御姿が変わり、御顔は太陽のように輝き、御衣は光のように白くなった。」(マタイ17:2)

「イエス・キリストの姿が変わった」という出来事をキリスト教用語で「キリストの変貌」「主イエスの変容」などという。「変貌」「変容」は、ともに国語辞典では「姿やようすが変わる」と定義される。

＜山上の変貌＞

イエス・キリストが山の上で栄光の姿に変わった出来事は、マタ 17:1-8、マコ 9:2-8、ルカ 9:28-36に記され、ペテロもⅡペテ 1:18 で言及している。福音書から、その前後のイエスの行動を見てみると、イエスはガリラヤ湖畔のベツサイダから北の方にあるビリポ・カイザリヤ(現在のパニアス)の村々へ行かれた(マコ 8:22, 27)。ビリポ・カイザリヤの近くで、ペテロのキリスト告白がなされた(マタ 16:13-20)。それから6—8日後にイエスは、ペテロ、ヤコブ、ヤコブの兄弟ヨハネの3人を連れて、祈るために高い山に登られた。その山の上で祈っておられる間に、イエスの姿が変わった。翌日山を降りた時、イエスは悪霊につかれた少年をいやされ、ガリラヤを通してカペナウムに行かれた(マコ 9:30, 33)。

イエスが3人の弟子の前で栄光の姿に変わった「高い山」とは、どこだったのだろうか。オリーブ山とする説は、前後の文脈から考えても距離がありすぎて、ふさわしくない。タボル山とする説が4世紀からあるが、この山はそれほど高い山とは言えない(海拔588メートル)し、山頂には住居があって、変貌にふさわしい場所ではなかったと思われる。一般に最もふさわしいと考えられてい

るのが、ヘルモン山である(海拔2814メートル)。しかし、これにも全く問題がないわけではなく、むしろガリラヤ湖の北西にあるサファドの町に近いメロン山(海拔1208メートル)であろうとする説もある。

さて、山の上で祈っておられるイエスの姿が変わり、そこにモーセとエリヤが現れてイエスと語り、同時に雲の中から父なる神の声がしたというのはどういう意味を持っていたのであろうか。ルカ 9:31 にはモーセとエリヤが「栄光のうちに現われて、イエスがエルサレムで遂げようとしておられるご最期についていっしょに話していた」とある。この「ご最期」という語は、出エジプト記のギリシヤ語名と同じ「エクソドス」である。またマタ 17:9、マコ 9:9 には、イエスが3人の弟子に「人の子が死人の中からよみがえるときまでは、いま見た幻をだれにも話してはならない」と命じられたとある。この出来事によって、イエスはエルサレムでの身代りの苦しみと死をさらに確かな使命とされただけでなく(参照マタ 16:21)、その時が近いことをも確認された。またイエスの使命は、律法(モーセ)と預言(エリヤ)を成就することであり、それは小羊の死による第2の出エジプトによって完成するものであることを弟子たちに示す出来事でもあった。こうして、イエスは、モーセ、エリヤ、そして父なる神からの励ましを受け、エルサレムに向かって力強く歩みを進められた。イエスに与えられた勝利と使命遂行の確信は、父なる神の御旨への全き服従となって積極的に十字架の恥をも引き受けるのである(ピリ 2:8、ヘブ 12:2)。弟子たちにとって、また私たちにとって、モーセとエリヤの出現は、永遠のいのちを具体的に示す例であり、イエスの死と復活は、私たちもそのいのちにあずかれることを保証するものである。またイエスの変貌の出来

事は、イエスの生涯においてだけでなく、クリスチャンの生涯における変貌ともかかわりを持っていると言えよう(ロマ 12:2、Ⅱコリ 3:18)。

以上、『新聖書辞典』(いのちのことば社)より

尚、「変わる」(メタモルフォオー)というギリシヤ語は、マタイ17章2節を含めて新約聖書の中で4回しか使われていない(マルコ 9:2; ローマ 12:2; Ⅱコリント 3:18)。聖書によれば、キリスト者もキリストの如くその姿が輝くように変貌することが約束されている。「メタモルフォオー」は、内面的・質的变化を意味する言葉で、英語の metamorphosis(メタモフォーシス)の語源である。「メタモフォーシス」は生物学用語で「変態」と訳される。異常で病的という意味の変態性欲のことではない。イモムシが蝶、ヤゴがトンボに姿を変える変態のことを指す。キリストに似て非なる者が主と同じ姿に変えられるのである。ちなみに世間では性関係を結ぶことを一般的に「Hする」と言うが、これは性的倒錯の変態のローマ字読み「Hentai」の頭文字の「H」から来ている。性関係を結ぶ男女がみな変態になるわけではなからう。ただし聖書的に言えば、夫婦以外のセックスは皆変態性欲の「H」である。聖書は婚外・婚前交渉は不品行・姦淫の罪と断じる。誤解を恐れずに言うが、クリスチャン夫婦のセックスもある意味「変態」と表現できる。なぜなら、クリスチャン夫婦の結合関係は、互いにキリストの似姿に変えられることでキリストと教会の麗しい関係を表わすようになるからだ(エペソ 5:21~33)。Ω

■ 次回の午前礼拝 2/27 午前10:30~ ● 2/25(金)夜のBSはキャンセル

「教会〔マラナサ・グレイス・フェローシップ(略称:MGF)〕はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです」(エペソ 1:23)。「そしてあなたがた〔MGF〕は、キリストにあって、満ち満ちているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」(コロサイ 2:10)。